

News Release

2026年3月31日

株式会社青森みちのく銀行

株式会社日本政策投資銀行

三沢空港ターミナル（株）に対し、青森みちのく銀行と 日本政策投資銀行で協調融資を実施 -空港関連機能の維持・強化をサポート-

株式会社青森みちのく銀行（代表取締役頭取：石川啓太郎、以下「青森みちのく銀行」という。）と株式会社日本政策投資銀行（代表取締役社長：地下誠二、以下「DBJ」という。）は、三沢空港ターミナル株式会社（本社：青森県三沢市、代表取締役社長：泉山元、以下「当社」という。）に対し、空港関連機能の維持・強化をサポートするべく、協調して融資（以下「本融資」）を実行しました。

当社は、三沢空港のターミナルビルを管理・運営する事業者です。三沢空港は青森県東部に位置する地方空港として、地域住民の移動手段を確保し、首都圏とのアクセスを支える重要な交通拠点です。三沢・東京（羽田）線の増便等で利用者数が増加する中、当社は、空港関連機能の維持・空港利用者の利便性向上のため、電気・空調等の基幹インフラ設備や各種施設の更新等、ターミナルビルの大規模改修を進めており、本融資はかかる改修資金に充てられます。

なお、三沢空港の災害発生時の活動拠点としての重要性も増す中、当社は防災・BCM体制の強化に取り組んでおり、本融資に際して「DBJ BCM格付（注1）」に基づき、「防災および事業継続への取り組みが十分」という格付を取得しました。

青森みちのく銀行及びDBJは、今後とも地域交通の拠点機能の維持・強化を通じて持続可能な地域社会の発展に資するお客様の取り組みを積極的にサポートしてまいります。

（注1）「DBJ BCM格付」融資は、DBJが開発した独自の評価システムにより、防災及び事業継続への取り組みが優れた企業を評価・選定するという、「BCM格付」の専門手法を導入した世界で初めての融資メニューです。当社は、特に以下の点が高く評価されています。

- (1) 従業員及び旅客の安全を確保するべく、ターミナルビルにおける耐震化対策の実施や、救急救命講習修了者の十分な確保及びテナント等との防災教育・訓練の実施など、ハード・ソフトの両面から防災力の向上に努めている点。
- (2) 三沢空港の早期復旧の実現に向け、平時より有事の際の生活物資の確保や、電力・通信・上下水道・燃料の喪失時を想定した備えのみならず、近隣の空港との間で災害時における

協力関係を構築するなど、A2-BCP（※）の着実な遂行に向け継続的に取り組みを推進している点。

※大規模災害時でも空港機能を維持するため、滞留者対応や施設の早期復旧、電力・通信など重要機能について関係機関の役割を定めた空港全体の事業継続計画

【お問い合わせ先】

株式会社青森みちのく銀行 審査部 審査第一課 電話番号 017-734-8518

株式会社日本政策投資銀行 東北支店 業務第二課 電話番号 022-227-8181

なお、融資条件等は非公開につきお答えできません。